

(参考資料)

これまでの意見交換会の参加者の意向の概要 (アンケート調査結果より)

・食のリスクコミュニケーション意見交換会

(10/2 三田、11/28 大阪、12/16 広島、04/1/30 高松)

1 . テーマについて

- 主な意見
- ・論点が散逸しており、ぼやけている。
 - ・テーマが広すぎる。絞って議論すべき。
 - ・系統だった討議がされていない。
 - ・それぞれの発言者の意見がうまくかみあっていない。
 - ・色々な立場の方の意見が聴けてよかった。
 - ・内容が難しすぎる。
 - ・もう少しハイレベルな話をしてほしかった。

希望するテーマ： 食品表示、残留農薬、食品添加物、遺伝子組換え、輸入食品

2 . リスク分析の考え方の浸透状況 (リスクコミュニケーションについての理解の状況を含む)

- 主な意見
- ・リスクコミュニケーションが重要であるということと、いろいろな意見があることを知った。
 - ・リスクコミュニケーションについて考え方を理解するまでに時間がかかった。日常生活の中で理解できるよう具体的なことを示してほしい。
 - ・国民がリスクの許容範囲をどのくらいまでもてるかということを知りたくて知らせていく必要があると思う。
 - ・理解できないことがあったが議論を聞いてよくわかった。
 - ・何を理解すればいいのかわからない。まだ先が見えていない。
 - ・「リスクコミュニケーション」という言葉がわかりにくい。

3 . 進め方について (双方向性、透明性)

- 主な意見
- ・リスクコミュニケーションに関する具体的な案件について、生産者、消費者、事業者と意見交換ができるようにしてほしい。
 - ・それぞれの立場から意見を述べているだけで、意見交換の場になっていない。
 - ・意見や質問を事前に募集し、それをもとに議論してほしい。
 - ・専門用語が多い。
 - ・難しい言葉については、具体的に説明してもらえるとわかりやすくなると思う。

4. 参加者、開催規模など企画内容

- 主な意見
- ・パネリストに、流通の人も入ってもらった方がよい。
 - ・時間が短く、パネラーの意見を十分に聞けない。
 - ・パネリストの数が多すぎる。
 - ・消費者の参加者が少ない。

希望する開催形態： 意見交換会、基礎的な勉強会、シンポジウムの開催、地方における意見交換会

5. 3府省への意見

- 主な意見
- ・食品安全委員会によるリスク評価の内容について知りたい。
 - ・意見交換会での意見が行政に対して反映されるようにしてほしい。

・遺伝子組換え食品（種子植物）の安全性評価基準案等に関する意見交換会

（12/19 東京）

1. テーマ、論点について

- 主な意見
- ・専門委員と意見陳述人の意見がかみ合っていない。（安全性評価基準に関する意見と GM の必要性の意見が同じテーブルで出されている）
 - ・意見を言う人が同じ。もっと多くの人が発言できて、議論が広がればよい。
 - ・（GM の必要性などについて）行政としての態度をはっきりすべき。

2. リスク分析の考え方の浸透状況（遺伝子組換え食品等のリスクについての理解の状況を含む）

- 主な意見
- ・理解できないことがあったが、議論を聞いてよくわかった。
 - ・科学的な議論が不十分で不安が残った。

3. 双方向性、透明性

- 主な意見
- ・消費者などからの意見に対して、専門調査会の委員がどう考えるのか、もっと詳しい説明を聞きたい。
 - ・細かく意見を吸い上げる場を持ってほしい。
 - ・もっと時間をかけ、じっくりと会場とのやりとりもして欲しい。
 - ・専門用語が多く判りにくい。
 - ・意見交換会の開催について、広く知らせる必要がある。

4 . 参加者、開催規模など企画内容

- 主な意見
- ・多くの人が参加できるよう、地域、時間帯などを工夫して開催してほしい。
 - ・開催を広範囲に知らせ、多くの傍聴者が参加できるようになればよいと思う。
 - ・生産者側の意見も聞きたい。

5 . 行政への意見

- ・食品安全委員会の所掌範囲にこだわった発言には失望した。イニシアチブを取るべきと思う。

テーマ・論点・視点に関するもの

1a	大雑把
1a	具体性にかける
1a	具体性にかける
1a	総括的でなく、テーマごとに多くの事例を含めた形式のほうがわかりやすい。
1a	具体的な話がまったくなかったので良くわからなかった。
1a	具体的な話がほしい
1b	争点が不明瞭
1b	目的が明確でない
1b	いろいろな立場の方が出席されているので、どうしても理解しにくい部分がある。層別の会合を持ってはどうか。
1b	具体策が聞きたい
1b	安全はサイエンスの問題だが、安心は心理の問題。神田さんの意見は、後者に比重があったと思われ、他の方の議論とすれちがいがあった。
1b	外国の方を招待することは考え方の幅が広がっていい
1b	総論的な内容から各論に踏み込んだ実質的な意見交換へ深めていってほしい。
1b	外国人の貴重な生の意見を聞くことができ、非常に良かった。
1b	海外の進んだ取り組みについての生の声がきけて非常に参考になった
1b	海外のエキスパートを招いて話を聞く機会をこれからも設けてほしい。
1b	同時通訳はとてもわかりやすかった。いつも聞くことができない外国の情報を聴くことができよかった。
1c	課題が不明瞭
1c	争点が不明瞭
1c	コーディネーターの流れ
1c	同時通訳はたいへんよかった。今後とも、回数を重ねていただき、先進国の取り組みを知りたい
1d	形式についてはよかったが、内容については、もう少し対象を明確にしぼったコミュニケーションの場があってもいいと思う。

意見交換会の双方向性、透明性に関するもの

2a	パネリストの回答が省略されていた
2a	フロアの意見も聞けるようにしてほしい。
2a	質問者の質問が、パネルディスカッションの内容に関連性が薄く、感じが悪かった。
2c	最後の前の方(農水)の質問は専門的過ぎるので別の機会にしてほしかった。専門家と分けてほしい。
2c	会議の記録はすみやかに公開してほしい。プラス・マイナスの情報等、中立的な立場での提供をお願いしたい。
2c	もっと聴取者が関与できるスタイルであればベターだ。
2c	関係者(農水省)の質問はいかがなものか。

ことばや表現に関するもの

3b	話すスピードをもう少しゆっくり
3b	Mピリーの話し方がゆっくりでわかりやすかった

パネリスト・講演者に関するもの

4	関澤先生量が多い
4	外国人を直接入れるより、外国の紹介ができる専門家を入れての討議でも十分では？
4	中村委員の考え方がわかった
4	中村先生の説明がわかりやすい
4	ピリー氏の説明がよくわかった

意見交換会の企画内容に関するもの

5a	時間が短い
5a	午前中から行うなど、時間を長くしてほしい。
5a	質疑応答の時間を十分にとってほしい。
5a	パネルディスカッションの時間が少ない。会場との意見交換の時間が少ない。
5a	質問する時間が短い
5c	開催地の行政担当者の傍聴参加があればよりよいのではないか
5c	一般消費者の参加がもっと多いとよかった

5c	「食の提供者」の参加がもう少しほしかった。
5c	参加者が固定している。
5d	字の多いスライドは見にくい
5d	配布資料を和訳していただけたら、より理解しやすかった
5d	年配の方に説明しやすい大きな文字での表示の配布物がほしい
5d	ビリー氏の資料にも日本語訳を
5d	配布資料の翻訳もほしい
5e	座長と司会は別の方がいい
5e	ベストな通訳は難しいと感じました。
5e	テーブルがほしい
5e	人の出入りが多すぎる。
5e	同時通訳はとてもよかったが、も片方から会場の音、片方から通訳の声がきこえて、混乱し
5e	食の安全に関し、先進国の方のこれまでを拝聴することは非常によいことであり、今後もEUとUSAの両極を同時に講演願いたい。
5e	同時通訳器に3チャンネルがあるといい
5e	会場のロビーがたばこの煙が充満している。喫煙室を設けていただけたらありがたい
5e	通訳の言葉が明瞭でわかりやすかった。
5e	日本語と英語の両方で聞けてよかった

3府省への意見

6	今後もグローバルな講演等を願います
6	HPの充実を。
6	農水省はコミュニケーションに熱心ですが、食品安全委員会はリスクコミュニケーションの中心的な存在だと思うので、このような場を設けてほしい。
6	バイオテロ法の日本語訳など、タイムリーにweb上に公開されるとうれしい。

リスクコミュニケーションについての意見

7a	リスクとハザードの区別が不明瞭。農業を例にとってもADまではハザードの範囲内。暴露量を評価してリスクとして評価、公表すべき
7a	消費者、事業者の意見も大事だが、専門家の純粋な判断が確立されるようにすることが必
7a	関澤先生の「情報だけでいいのか」はかなり深いところに踏み込んでおられると思いますが、リスクアナリシスの踏襲だけで、安心まで届くのではないのでしょうか。
7a	リスクコミュニケーションの重要性が良く理解できた。国民がどこでも情報が入手でき、自由に意見が言えるシステムを実施していくことが必要。
7a	まずアセスマネジメントのシステムについてコミュニケーションが必要だと思った。
7a	目標とするリスクコミュニケーションと実際とのギャップが大きいと感じた。
7b	欧米等諸外国の食品安全の行政の動向と問題点を知らせる勉強会
7b	最近のEUのリスクコミュニケーションの現状の紹介をしてほしい。
7b	HPをリスクコミュニケーションを意識した構成にしてほしい。
7b	リスクコミュニケーションはこれからもさらに重要なテーマになると思う。双方向の情報発信にこれからも努力してください。
7b	具体例をあげたリスクコミュニケーションの状況、方法等について掘り下げた勉強会を開催してほしい。
7c	食べ物を通じてリスクコミュニケーションという新しい社会システムを作っていくことであると感じた。消費者も、自分のことは自分で守ることが第一ですが、最も変革を期待するのは行政
7c	日本流のリスクコミュニケーションを見出していく必要があると思う。国や自治体の役割をはっきりさせることが重要だ。
7c	リスクコミュニケーションに関して、学会間の交流が必要だと思われる。
7c	同時通訳でカタカナ語のニュアンスがよくわかってよかった。外国人の生の声を聞くことは大切であり、そこから理解が深まると同時に、日本でどうすべきか考えていきたい
7c	ズサンな研究をもとに、不安をあまりコストを度外視しての「ゼロリスク」を要求する学者も問
7c	日本は様々な国から食品を輸入しているので、他の国の法律との整合性のとれた食品の規格基準を見直すしかないと思う。
7c	多くの国民は「食品安全」に関する知識が不足していると思うので、今後もこのような会を開いていただくことで勉強できる良い機会となる。
7c	リスクコミュニケーションについて普段からよく研究しておくべきだと思った。

その他の意見、感想

8	大変良かった
8	非常によかった
8	非常に勉強になった
8	貴重な体験でたいへんよろしいと思う。
8	大変有意義だった
8	大いに結構な取り組みで、積極的に進めてほしい。
8	理解しやすかった。
8	本日のスタイルは良かった
8	大変勉強になりました

テーマ 論点 視点に関するもの

1a	説明は非常に分かりやすく良かったが、もう一步踏み込んだ内容も聞きたかった。
1a	総花的で、あまり参考にならなかった。
1a	ただ、バラバラ感で焦点化できなかった。
1a	どうもありがとうございました。具体的な食品について、生産、流通、加工、消費、管理(行政)の立場の人によるリスクコミュニケーションの実際を目の当たりにしたいと思いました。
1a	あまりにも総花式で、各パネラーの発言が浅く不満。
1a	リスクコミュニケーションについては、ずいぶん勉強になりました(資料を含めて)。しかし、パネルディスカッションは時間が短いのでパネリスト一人一人の意見がじっくり聞けなかったように思います。
1a	システムの導入としては良かったとは思いますが、表面的な議論になった感がある。
1a	具体的なリスクについてもう少し詳しく、聞きたかった。
1a	もう少し詳しく聞きたかった。
1a	様々な問題があるので、いくつか話題を絞るべき。
1a	消費者団体、府生活研究グループの代表者からは、もっと具体例をあげてご意見を伺いたかった。(農薬、トレーサビリティ、食育等に関して)
1a	パネルディスカッションの深いところまで掘り込まないと思います(進め方が悪い)日本の「食」をこのような方向にさせたのは行政とマスコミではないでしょうか。消費者にリスクについて学んでいただく
1a	具体例で説明された。
1b	もう少しレベルの高い内容を期待していました。
1b	自分たちだけの視点で会場に途切れる部分が多く不満。
1b	パネリストのそれぞれの立場がわかりにくい。消費者側対生産者側なのか、一般人对行政なのか、具体的に見えていない。
1b	前述の通り、パネルディスカッションの人数が多いとポイントがわかりにくい。一体、何について話しているのか、わからなくなってきた。リスクコミュニケーション?食育?
1b	満足しましたが、少し建前的でキレイな発言が多く、問題のドロドロしたところの討論にまで至らなかった(時間の関係もありますが)
1b	それぞれ、良いお話をしてくださるのですが、話がかみ合って発展し、まとまるということがなく、コーディネーターの必要を感じました。軸も必要、回数を重ねることも必要かも。
1b	もう少し、まとまった話をして欲しい。
1b	パネルディスカッションは、生産者、消費者、業界関係者、行政、マスコミ等のパネリストを揃えたわりには、テーマが分散しすぎて聞いているほうは少し不満が残った。
1b	時間が短いとともに、パネラーが多く中途半端な感じで視点が絞りきれない。
1b	日本の農業(生産者)を軽視した発言が目立った。
1b	生産、加工サイドからの話は、自社の宣伝のように感じられた。
1b	生産者、消費者、役所の、三者が揃っているのにその対立した3者の発言のからみが少なかった。その中でリスクコミュニケーションの重要性、今までの不十分さが出てくるかもしれないのに。
1b	農業者についての考え方意識の改革派非常に重要なことだと思う。私は農家に育ち、現在も野菜類を自給自足していますが私の周辺の農家は今田に出荷する物と自分の食べる食材を別に生産している人が多数います。農協の体質も含めて検討する余地は大きいと思う。
1b	食の安全性についての部分が大きくなりすぎて、安定供給の視点がほとんど取り上げておられなかった。現状の食のリスクは極端に言ってしまうと、安全性と供給の折れ合いになると思うので、その着地点を個人が判断する為の情報やリスクコミュニケーションとして最も必要と感じた。
1b	外国からの輸入物を安全に購入する方法等の話が所々出ていましたが、輸入物が増えてくると日本の生産者側が困ることになると思われる。この場合の意見も今後聴きたい。
1b	パネラーがコメント化している気がする。良いことが悪いことかは判らないが農水省や厚生労働省は単に自己PRに徹しているだけで内容的には問題点に触れていないので話は白ける。
1b	生産者の情報開示の必要性については良く分かりましたが、消費者側からのコミュニケーションの具体的なあり方についても聴きたかった。
1b	様々な問題があるので、いくつか話題を絞るべき。
1b	リスク評価を分かりやすく説明し、コミュニケーションを図っていくための具体的な施策などが議論されると面白いと思います。また、成功事例、失敗事例の紹介などもあれば良いのではと思います。
1b	テーマの焦点化が必要でしょう。
1b	パネリストの選出は大変難しいことであるが、一番大切で人選と話す内容の整理が必要ですね。消費者として物足りない事例を挙げて話題を盛り上げて欲しい。
1b	各階の方々の考え、意見は大変参考になった。
1b	パネルディスカッションで各関係者が出席し、色々な立場からのお話が聞けたこと。
1b	それぞれの立場のパネラーの出席で聞きやすかった。
1b	立場の違う方々から、生きた意見が聞け、大変参考になりました。
1b	立場の違う人の発言を聞けたのは新鮮であった。

意見交換会 (大阪)

1b	それぞれの立場の意見が聴かれた。
1b	それぞれの方面の意見を聴講することができたと思われま。食品安全に対し、どう考えているか分かることができたと思われま。
1b	理解しやすかった。異なる意見が聴けるところと、パネラーの人の考えが分かった。
1b	色々な、立場の方の話を聴けてよかった。
1b	色々な立場の方々から、それぞれ目指しているものが見えてきて食品に対するリスクをどのように捉えれば良いかが、少し考えることができたため。
1b	農水、厚労省の方の連携姿勢を伺うことが出来た。
1b	多方面の意見が聴けたと思います。ありがとうございます。
1b	少しまとを外れている点もあったが、大変良。
1b	パネラーによって「意見」のとり方に差があるのが興味深かった。
1b	色々な立場の方が「意見」を聞いて、とても勉強になりました。
1b	リスクコミュニケーションとはどのように考えてゆかねばならないかを各パネリストの意見の裏側から理
1b	それぞれの立場の違う方の意見が一同に聞けた。
1b	基調講演で、リスクコミュニケーションの「思想」に付いて語られたところ。
1b	様々な立場に基づいた素直な意見が聞けた。
1b	各分野の方のお話が聞けた。
1b	基調講演も資料も分かりやすく、パネルディスカッションも立場がそれぞれで比較されよかった。
1b	行政、学者、生産者、消費者がそれぞれの問題意識、課題を出し合うことで、今、私たちが抱えている課題が見えたのではないのでしょうか。自立した消費者になるための更なる学習！そのためのきちんとした情報提供。そして、今日、少ししか話題にならなかったが、センセーショナルなマスコミ報道のそれぞれの立場の発言から今後のあり様など大事な視点を学ぶことができた。
1d	寺田先生の挨拶で、大阪中心の参加者を意識されているようでしたが、本日の参加者の呼びかけ参加はどのような方対象であったか？
1d	行政関係者は、まだ情報開示が最終目的のように、思われていませんか。意見交換会を各地で行なうことの次のSTEP見せていただきたいですね。参加しない消費者にも伝える努力が必要でしょう。
1d	パネルディスカッションの目的が不明
1c	1人1人の言われていることは理解できたが、流れとして理解できなかった。人数が多すぎなのかと
1c	各パネリストが固有の意見を述べたにとどまった気がした。

意見交換会の双方向性、透明性に関するもの

2a	意見交換時に、質問が多く意見交換となつてなかつた。「コミュニケーション」を中心としたことにならな
2a	パネリスト同士のコミュニケーションも会場とのコミュニケーションも不足。
2a	質問の意図がわかりにくい。要望だけ。
2b	事前に提出した質問事項はどのような形で回答いただけるのでしょうか。
2b	質問者については、多少事前アンケート等の内容で指定しておいて全体のテーマにつなげるなどの工夫が必要ではないか。
2b	寄せられた質問の取りまとめた冊子などが欲しい。
2c	パネリスト間につながりを感じられず、各々の意見としては理解できたが、もう一步、それがどう消費者につながってくるのか、横のつながりが弱かったように思う。
2c	食品安全モニター中心の集まりと思えば交流が出来るのであろうと2時間かけて来ましたが、食品安全モニター顔が見えなく、参加者との交流ができず残念でした。
2c	今回の場合、リスクコミュニケーションについての理解を深めるための交換会だと思つていますが、これからは具体的なところを消費者と業者、生産者も含め、キャッチボールできる形で聞いて欲しい。
2c	意見交換会を実施することは重要であるが、大切なことは実施回数をいう実績ではなく、内容だと思つて。まだ始まったばかりで模索中であると思つて。主催者の自己満足のような印象を受けた。
2c	何となく、コミュニケーションが取れたような気がする。

ことばや表現に関するもの

3a	言葉(リスクコミュニケーションという)は、一般消費者は引いてしまう難しい言葉。でも、具体的に説明していただくと身近な言葉となったが「リスク」と「ハザード」の意味(境)がわからない人もいるのでは。(リスクを日本語訳にすると)注:原文ママ
3a	(不満・意見)「リスク」といい「コミュニケーション」といい、一般的に意味不明である。カタカナを使う必要があるとは思えない。今のうちに何とか言葉を考えてもらえないものではないか。「牛ケン」という言葉を使いたくないというのは良く分かるのですが
3a	「リスクコミュニケーション」と言う言葉が今もなお受け入れにくい。理解しにくい。したがってモニターをしても報告がなかなかできない。ピンとこない。
3a	今日の基調講演でありましたように、できるだけやさしい言葉で分かりやすく、情報提供して欲しい。
3a	曖昧な表現が多かつたようです。
3a	引用に不適当な部分があつたように思いますが、やさしい言葉で話していただけて分かりやすかつた。

意見交換会 (大阪)

3b	パネラーの説明 (徳に湯川、寺田さん)マイクが通らない。聞き取れなかった。
3b	やや早口で話されたのが残念であった。

パネリスト・講演者に関するもの

4	食育の問題を含め、食品添加物に対する学校教育にも問題があると考えます。今後の意見交換会には文部省の方の参加もご一考されてはと思います。・大手流通 (例:生協)の方のパネリスト参加もご
4	今日は文科省の方がいなくて残念です。食育が、大手だということですが、コンビニ、ファストフード、惣菜の販売場の増加をみれば、今後自分で調理して食する。そのことで、食に農に興味をもつことはとても困難だで、特に、若人の将来には危惧を感じてしまいます。だからこそ、食器、食材のリスクに関する情報開示、その評価が重要だと考えます。そして、判断する術も教えて欲しい。家庭教育の範囲を超えた分野で、文科省の取り組みも期待したかったです
4	(平松先生に)健康雑誌が良く売れており、日系ヘルスのPoyの30代の女性で料理を造る立場の人が読んでいる。健康雑誌も正しいデータを提供するよう、マスコミ等にジャーナリストの立場で食の安全の立場にたつて、今後活動していただければありがたいと思います
4	生産者のパネリストが少なく、生産者の立場の意見があまり聞けなかった。
4	パネリストの選び方。
4	木下先生の専門的な深いお話が聞けた。
4	木下先生の講演が良かった。
4	パネルディスカッションに、生産者代表として全農なり、府の経済連が参加すべきだと思います。そういう意味で不十分だったと思います。情報開示を何処まで、厚労省、農水省、食品安全委員会ができるのか。消費者 (国民)をもっと信用したほうが良いのではないかと思います。信頼することからしかコミュニケーションは成立しない、ですが、本日の内容は大変よかったです。今後の積極的な関
4	木下先生のお話が適切で、又、小生の知らなかったことなども伺いすることができ良かった。
4	木下先生の話が良くわかりました。説明が明瞭で、大変良かったです。
4	パネルディスカッションより、木下先生の話が長く聞きたかった。
4	今までのような方の「リスクコミュニケーション」に関するお話を伺いましたが、木下先生が一番分かりやすくて感激でした。
4	頑固フードサービス株式会社代表の方が本音でほんまの、意見を述べられた。このような話が欲しい
4	ここのパネリストの発言は立場上、各々、適切であった。
4	パネルディスカッションでがんこの小嶋社長とジャーナリストの平松氏の意見が明解で聞き取りやす

意見交換会の企画内容に関するもの

5a	時間が少し足りなかった点は不満です。
5a	時間が短くて残念。
5a	もう一步踏み込むためパネルディスカッションは時間とパネラー数をご検討いただければと思います。
5a	時間が不足、質問時間が少ない。
5a	問5に関連するが、コミュニケーションだから、もっと質問・意見の時間を取るほうが良いと思います。
5a	意見交換の時間をもっと多くするべきと思う。
5a	質問の時間を多く取って欲しい。
5a	もっと時間を長く取って欲しいと思う。
5a	時間不足だと思う。
5a	時間をもう少しゆったりほしかった。最後の質問の時間が、まさに双方向ではなかった。
5a	質疑応答の時間が短かった。加工食品の問題と、日本の農業問題を分けた意見交換会の開催も考えられると思います。
5a	時間不足 (パネラー数と時間が)
5a	時間が少し短い。
5a	時間的に短いため、概要しか聞けないので。また、今後継続的に開催してほしい。
5a	各事項目の時間が足りない。
5a	時間が少なすぎた。
5a	意見交換会の時間が短い。もっと時間があれば、基調講演のお話も短い時間で適正に感じました。
5a	各パネリストの時間が少ない。
5a	もう少し時間があれば、もっとパネリストの意見を聞きたかった。
5a	もう少し時間があればよかった。
5a	もう少し時間をかけて説明が欲しい。
5a	時間がもう少しあればよかった。
5a	時間内で、まあまあ。
5b	パネルが多すぎた。
5b	時間に対してパネリストが多かった。

5b	パネリストが多すぎる。
5b	パネラーが少し多いように思う。内容を聞いていたら、多数は必要がなかったのではないかと思ってい
5b	あまりパネリストの人数が多く発言が少ない。
5b	パネリストが多すぎる。 発言時間が短かすぎる。
5b	パネラーの人が多すぎる。
5b	パネラーが多く、どうなるかと思ったが、まずまず。
5c	一般の消費者の参加が少ないように思いました。
5c	この程度の人数で開催される問題ではないように思う。
5c	会場の何パーセントが消費者だったのでしょうか。
5c	一般市民が興味を持ち自主的に多く参加する方向で検討必要と思う。
5c	消費者に聞かせたいのなら、家庭食に関わっている女性の参加者が少なすぎた様に思う。
5d	ワーホイトなどプレゼン資料を作って欲しかった。
5e	テーマを絞ったこのような会を単に広げることも必要。
5e	今後ぜひ続けてください。
5e	大阪駅、または新大阪駅の近くの会場で机のあるところで開催を希望します。案内状に地下鉄の出口番号を書いて欲しい。暖房が入っているのが暑かった。省エネをお願いします。
5e	各地域 (私は京都)で開催してほしい。

3府省への意見

6	食品安全委員会によるリスク評価の具体的内容をお教えいただきたい。
6	厚生労働省、農林水産省、教育 (文部省) とそれぞれの活動がばらばらで、どうして一緒に話し合えないものなのでしょうか。まだまだ別々ですね (全て表示や内容等) 食生活指針。
6	食品安全委員会の内容をどんどん公表してください。 ジャーナリストの方ももっと勉強なさい。ファーストフードも安全基準を満たして安心することができる。 農業は無農薬では生産できない需給。もっと農水が統一基準を作り統制すべき
6	安全だから輸入するのではなく日本の農業を守って育てていくような政策を出して欲しい。 添加物や農薬はガンとは関係がないと言われましたが、ではなぜ、3人に1人という死亡率になるのでしょうか
6	農水省の方も食の過去の事件についての失敗を含め話を進めたほうがいい。
6	やはり、行政の方の話は分かりにくい。
6	省庁の縦割り行政の改善を願います。

リスクコミュニケーションについての意見

7a	リスクコミュニケーションの考え方について理解できた。リスクコミュニケーションの重要な点と、いろいろな意見があることを知った。
7a	リスクコミュニケーションの内容を今までより理解でき、反面難しい問題だということが分かりました。
7a	理解度を確かめるにあたって、何を理解すればいいのか、よくわかりません。実情とか経過を聞くだけでなく、私たちはこれから、本当に安全について確かめることができるのか、まだ先が見えにくい
7a	リスクについての考え方が様々であると思った。食の安全とは科学的観点と個人的観点で異なるのかと思う。考え方の整理に助けとなった。
7b	リスクコミュニケーションの技術を講習する場があると良い。
7b	リスクコミュニケーションについて現在はホームページを利用しているケースが多いと思いますが、各行政のホームページによって内容にばらつきがあるので、SRSV (旧ウイルス) 等食中毒の予防法もまちまちであるので、混乱がおこらないよう一定のラインを示して欲しい。特に生食用のカキについて殺菌温度がまちまちであり、生食を避けるというのが定着しているようです。生食用で生食できないのであれば生食用と表示することはおかしいのではないかと専門が多い。厚生、農水協働で洗
7b	BSE,SERS等、今ほど「食の安全 安心」を求められている時代も少ないと思います。その中で今回のような取り組みも重要であると思いますが、しかし、もっと一般に広くゆき渡るような取り組みが必要ではないでしょうか。例えば、フランスの「モンドコレクション」等の食品安全委員会認定の「コンクール」をひらき、基準を上回った良質の品物には何らかの賞を与える、と言った取り組みが出来まいか、と考えています。ぜひジェイコムとして提案したいと思っております。後日ご連絡したいと思います。何卒と
7c	疑わしきは罰せずという法律のやり方では、消費者の権利は守られない。リスク (ヤバイ!) を感じた市民の声を聴く制度と、疑わしきは保留するという消費者を守る制度が必要ではないか。ヤバイかもしれないものを知らないうちに食べさせられてしまっている現状、将来食べていくことが出来ないかもしれないというリスクより商業 (お金儲け) が優先される現状に消費者がうんざりしている
7c	マスコミの中でテレビの中での情報を信じる消費者が、そんなに多いのなら、行政の中の人達も出来るだけ出演して分かりやすい説明をされたら、リスクコミュニケーションには効果があると思う。本日の出席された省庁の方はお役人らしくなくて説明がわかりやすいですよ!
7c	TVが非常にセンセーショナルな取り上げをし、本当に消費者に知らせなければならないことは何なのか、不明確なことがある。食のリスクコミュニケーションは、生産者、消費者、行政などだけではなく、マスメディアも直前に取り組みをする必要があると思います。

意見交換会 (大阪)

7c	ジャーナリストは信用できません (マスコミと同じでしょう) マスコミが正しく報道しないことが国民を惑わせているのではないのでしょうか? マスコミは5~6割がウソですね! ありますから、今、日本中で無駄な努力をしている。結論は何年経っても出ないでしょう。何をしないで、何をやっても、これには
7c	リスクコミュニケーションはボルボやクレラップなど、大きな企業だけがしているように思えるが、全人類がこのリスクコミュニケーションに参加でき、より良い食品安全ができ安心して食生活ができるよう
7c	具体例を使ったCase Study を見てみたい。社会全体のコストダウンのため、業界統一フォーム等を
7c	リスクコミュニケーションを強めることで、消費者がきちんと選択し、発言できることが安全を得るには必要だと思った。マスコミに踊らされる、雰囲気を選んでします、それが危険な一歩かもしれない。しかし、それを消費者の責任とするだけでなく、社会全体で考えていかないといけないのでは。
7c	何をどう判断すればいいか、かえって混乱をまねいています。リスクのものは無いということだけは理
7c	リスクのすすめ方を理解させるのが難しい。
7c	リスクには光と影があり、フェアに開示することが必要である。
7c	食のリスクコミュニケーションをこれから推進していく気配を感じる事ができた。
7d	食の安全が問題であるが、何が悪いのか、農業の農薬 輸入 . . . 等々、問題点を明らかにし早

その他の意見、感想

8	このような機会は、とても必要だと思う。なにが大切か基本の基本を話し合っていくと良いと思う。(難しく考えないで、食の本当の大切さを知ること)食は生命の基本です。利益と利潤追求とは離れて考えて欲しいです。問5に未書きましたが今後も交換会等 継続して開催してください。
8	リスク分散、ほどほどに、良いことだと思います。
8	省間の壁 塩、酒、なぜ例外が存在するのか(制度、諸権限)。まず条件の整備が必要ではないの
8	消費者の自己責任」は食品製造、販売するものにとって難しい問題です。もっと勉強会が必要。
8	新聞などのお詫びの公告さえ出せば品物を返送して代替品を返送したりして済ますケースが大変多くみられる。企業は横並び的で、こんなやり方が目立たなくなれば、我社もこれで済むだろうと、なんか変な責任の済ませ方というか、これで終わりだと思っているように思う。もっと社会的にキビしく、罪を重く受けるように責任を思ったり、償ったりする必要があると思うので、何か社会的にもっと見えるボランティアや寄付等の寄附や対象者に対しては、金銭等の謝罪もすべきだ
8	今の社会の為に、今後を担う子供たちの為に、我々ができること、道筋をしっかりと見守っていきな
8	日本人として、まだまだリスクコミュニケーションには慣れてない事を反省します。一行政マンとして、リスクの技術を勉強していきたいと思えます。
8	ある程度事前の知識がないと分かりにくかったのではないかな。
8	提供の方法も多くの国民に届くよう、メディアも利用してははどうでしょうか。
8	基調講演は、ほぼ満足。もっと学習したいと思った。(最後に言われたマネジメントとコミュニケーションなど)しかし、パネルディスカッションは大いに不満。
8	うーむ、そういう話もあるか! そんなことも言うか! . . . と参考になった。
8	企画内容、基調講演とその内容、パネリストの先生方など、初めてのことであったが、今後も続くことを
8	ゼロリスクのものはない。気になった次第です。子供の食育について、必要性が話され、自分たちの仕事の大切さを感じました。
8	まずまず
8	今後、意見交換会関係の参考にします。
8	大変勉強になりました。
8	よく理解できた。
8	行政官として市民とのリスクの今後の参考にになりました。
8	自分で勉強したかったことが、よく分かりました。ありがとうございました。何か提案でき、自分も参加できればいいなあ、と思いました。
8	第一歩、第二歩としては、いいのかも。

テーマ 論点 視点に関するもの

1a	テーマが絞られておらず、論的がぼやけていたように思います。
1a	全てのレベルに対して一人当りの時間が短すぎるため、中途半端な議論になっていた。
1a	議題が明確でなかった。
1a	何を話したかったのが明確に見出せなかった。
1a	ある問題について検討している等のわかりにくい回答等があったため具体的な回答があればよかつ
1a	概念論に終始して、具体的ではない。
1a	やや具体性に欠ける。
1a	全般的に一般論に終始して掘り下げが足りなかったように思う。(残念な点)
1a	本日は総論としての意見交換会であったためにやむをえないと思いますが焦点が絞りきれなかった所があります。(リスクアナリシスの説明会としては良い面はあったが。)
1a	時間的な制限が内容的にもう少し詳細(深い)ものが少なかった。
1a	テーマが広すぎるのではないのでしょうか? 討論中にもありましたが「ラベル表示」のみにテーマを絞るなどされた方が聞く側としてはわかりやすいです。
1b	テーマがバラバラ統一性系統での討議がない
1b	話しにまとまりがない。話題が飛びすぎる
1b	各パネリストが何を強調したい、何を一番訴えたいかが伝わってこない。
1b	添加物について悪いことはほとんど説明がなかった。
1b	バラバラ
1b	消費者からの明快な質問が少なかった。
1b	パネリストの立場上での一方的な意見と感じた。消費の方の意見は色々有ると思うが、現実問題となるとそう簡単ではないのでもっと「どうするの」を意見交換する必要があると思う。
1b	P・Dのポイントがばくぜんとしてやや不満。
1b	消費者の意見がもう少しあったらよいと思った。
1b	パネリストが10人もいて、一人当たりの発言時間が長く、話しがバラバラである。話題をしぼって集中的な意見交換をしてほしかった。
1b	主題に対して、範囲が広がりすぎる傾向が見られた。最初から、その旨を知らせて、一般者の意見を聞くようにすればもっと内容が深まったのではないか!
1b	かなり散発的な「質疑応答」になり、深さがもう少しほしかった。
1b	一般的な座談会のように全く時間の無駄。もっと論点(リスクテーマ)を絞った交換会を行なうべき。税金の無駄使いだと思います。
1b	消費者からの意見少ないように思う。
1b	パネリストが多数~少し厳選してもらったほうがgoodでは? 意見交換に活発な発言者があって理
1b	非常に専門性の高い内容ですが消費者にとって本当に役立つパネルディスカッションにして頂きたかった。身近な食の問題、やや遠い課題となったようです。「消費者第一」という言葉をたびたび発せられたにもかかわらず、片寄りすぎた内容だったといえます。そう感じたのは私だけでしょうか。
1b	ひとつの話題(今回は単語)にこだわりすぎではないのでしょうか。もっと具体的な消費者の意見を聞いてはどうでしょうか。初めはこんなものかな。
1b	パネリストを絞って、話をまとめたものにして欲しい!
1b	パネルディスカッションはコーディネーターの言葉が聞きとりやすく、各分野の意見を生かした一定の方向性が見えにくかった。意見交換にまつわるパネリストの発言は興味深かった。
1b	消費者代表の方は自分の意見のみをいって周囲への配慮が十分なされてなかった。消費者代表がこれでは食品に対する理解はとうてい望めない。
1b	アンケートにもありますように添加物、表示などテーマを絞って細部の具体的な意見交換ができる場を設定して欲しいと思います。
1b	消費者の方や消費団体の方の意見をもう少し聞きたかったです。
1b	問題の解決手法も含め、中の広い各専門的な事を説明されていた。
1b	それぞれの立場で意見が聞けて良かった。
1b	いろいろな人の意見が聞けた。
1b	建設的な意見が各分野で出たことがよかった。
1b	多様な意見が聞けて参考になった。
1b	いろいろな立場の意見を聞くことができ、自分ない視点を知ることができ、よかった。また、よい点だけでなく、これからの課題となる点も知ることができた。
1b	消費者の方から積極的な質問や意見が交わされ、参考になるものであった。
1b	いろいろな関係機関からの意見が聞かれた。
1b	色々な立場の事情、考えが理解出来た。
1b	様々な方の意見を聞けてよかったです。

意見交換会 (広島)

1b	たくさんの意見交換が出来てよかった。
1b	パネリストの立場から、自分の考えや意見と異なる意見が聞けたこと。
1b	色々な意見があり勉強になった
1b	広い視点での情報を得る事が大切だと痛感しました。
1c	平易すぎたので
1c	各専門の説明・要望のみで調整されていない
1c	個々の発言内容が「カミアワナイ」合意できる点は何か不明。自己の立場の主張のみである。
1c	何について何を討議し何を説明しているか分からない。もっと一つ一つについて意見討議してほしい。
1c	パネルディスカッションとしての機能をもう少ししてほしい。コーディネーターの方の発言が多い。
1c	パネリスト間の知識レベルの差があって話しが合わない。
1c	意見交換会といえば全員出席者の全数あり。それを行政は一気通貫した答えを教えていただき、これでどのように一本化するために意見を出席者が回答することでステップUPになるのではないかと思います。大枠・大骨では出席者全員理解・合意はできていると思う。核心に入る部分は専門家グループで
1c	日本の中小企業の経営が非常に逼迫している現状において、食の安心をどこまで求めていけるのが実現していくかの意見が聞けなかった。
1c	パネルディスカッション、質疑はテーマによってはもっとおもしろくなっただのではないかと思います。
1c	会場との意見交換の中である程度の本音の部分が見えかぐれして、もっと核心をついたところでの意見交換ができればもっとよかったなと思いました。
1c	シンポジウムの論点が明確に伝わらなかった。
1c	単に各パネリストからの説明会的要素が強い。
1c	食品添加物に関する考え方、食品安全委員会の組織なども知る事が出来て良かった。
1d	誰を対象にやっているのか不明瞭。一般消費者にはわかりにくい部分が多かったのでは。
1d	出席者の平均年齢が高い。もっと子育ての最中の主婦を対象とした意見交換、勉強会の場設定がい
1d	何を目的とした意見交換会ですか？

意見交換会の双方向性、透明性に関するもの

2a	答えが的確でなかった。
2a	質問者の自慢、自信の話のみの感じ
2a	会談の質疑応答で司会者は力不足でした。
2a	パネリストの意見が抽象的だと云いつつ、自分が抽象的でとりとめもないことを云う意見者がいると時間がロスのような気がします。
2a	パネリストと会場の人との質疑応答になっている。
2a	行政関係者の質疑応答は勘弁願いたい。(勉強は他の機会に)
2c	それぞれの立場からの意見を述べているだけで意見交換の場になっていない。
2c	パネルディスカッションになっていない。意見陳述会ではない。
2c	一方的にパネラーに意見をさせるだけではダメである。
2c	他の地区で開催されたものを含めて、このような交換会の抄録が公開、入手できればよい。
2c	質疑応答になってしまっています。より小さい区域毎で開催できるように人員の配慮をお願いします。また系統立てた勉強会なども企画いただければありがたいです。少人数でないと発言しづらいです。あるいは、質問票を意見交換の直前に回収して、それをもとに司会進行していただければと思います。
2c	一言～行政が行っているパブコメ募集中にはリスクコミュニケーションとなる内容のものがあるが、最近パブコメラッシュでコメントを送っても回答されないケースも多く又まとめとしてのコメントが出る前に官報告示されるケースも目撃される。形だけコミュニケーションのようになっており実態は一方
2c	一般消費者達の不安に関して、専門家としてわかり易く答えていただいた。

ことばや表現に関するもの

3a	新聞等で指摘されているが、難しい単語(英語)が入り、理解できない部分があるので、適切な日本語で話をしていただきたい。
3a	少し時間の関係で早口であったがわかりやすい言葉であった。
3b	ききとりにくいところがあった。
3b	狂牛病とか公僕とか高学歴とか他の用語に代えた方が適切であると思う。
3b	パネルディスカッションはパネラーの話し方により、また語尾のあいまいなものもあると聞きとりになるので、気をつけて話をしてほしい。

パネリスト・講演者に関するもの

4	パネラーにきちんと答えられる生産者側の人がいらない。
4	生産者・事業者の声が聞けなかった。
4	一部のパネラーが持ち時間を無視して長話をした。もっと打ち合わせをすべきである。
4	事業者代表、流通関係者をもっと入れ、情報的な意見をおさめては。

意見交換会 (広島)

4	パネリストの方々に生産・製造・消費・報道・行政の代表者が出ておられるが、なぜ流通の代表者をパネリストとして選出していないのですか。Farm to tableでも流通の役割はあります。また、流通の不備によって起こるような違反もあると思いますが、最終的には生産者・製造者の責任となってしまい、いくら良いものを作っても消費者の所には悪くなって渡ってしまうケースもあると思います。ですから流通の人も含めて意見交換をされた方が良かったと思います。
4	山田さんの発言が全体に対していいイメージを与えているような気がする。
4	基調講演がわかりやすかったです。
4	山田友紀さんの意見は非常に明快で聞きごたえがあった。
4	報道の立場の人がパネリストの中に居られて、大変良かった。
4	基調講演は非常に分かり易かった。山崎先生の話をもっと聞きたかった。

意見交換会の企画内容に関するもの

5a	パネルディスカッションの時間が短かった。パネリストの意見等の集約も不十分なまま終わってしまった
5a	各々、もう少し多めに時間を取るとよいのに。
5a	時間が短い。
5a	パネルディスカッションの時間を、もっと意見交換会の時間にあてた方がよいのではないと思った。
5a	もっと質問の時間が欲しいと思いました。
5a	基調講演時間が短かすぎるため十分な説明がされたとは思われない。
5a	基調講演の時間が内容量に比較して短すぎる。しっかりと時間を取ってほしい。
5a	本アンケートを記入する時間の不足
5b	パネリストが多く、話題の視点の中が広がるのは良いが、一人当たりの発言がわずかで残念でした。
5b	パネリストの人数が多過ぎて、意見がしっかりとでないのでは...
5b	パネラーが多すぎる。3~4人程度で。
5c	食=主婦と考えた場合、平日の昼に行くと本当の意見を抽出できないのでは?今日の参加者も男性がほとんどで立場としてはメーカー等ではないだろうか?
5d	- の情報資料は、すごく満足であります。
5e	但し、マイクの状態が悪かったのか一部の人の答弁に聞きにくい場合があった
5e	マイクに声のよく乗る人とそうでない人がある。これは困ったことだが、出来るだけよく分かるよう配慮
5e	コーディネーターのマイクが悪いのか、大変聞きとりにくかった。
5e	パネルディスカッションはマイクに入らない発言が聞きにくかったです。
5e	来年も12月に開催して下さい。
5e	全国民が食べるということを考えると、もう少し地方での開催を増やして欲しい。例えば安全委員会は毎回開催地をかえてみてはどうか。
5e	会場不備。入場制限は何故するのか。
5e	新しい試みが始まったことは十分評価できるし、好ましいことである。このような会を重ねてほしい。

3府省への意見

6	輸入食品について指定外添加物の混入が多いようですが発見後の検査はどうなっていますか?何か事件が起こってから行政の対応が確定するまでの期間が長すぎるように思います。
6	食品衛生法をJAS法とのおり合わせは何年先を目標でやっている等が聞きたかった。そして分析法も確立してほしいと思う。
6	表示については、用途名を省略できるものがある(日持向上剤 ex プロピレング)消費者は原材料表示をみて添加物として判断できないと思う。用途名の省略はやめたほうがよいと思う。
6	食の安全の元となる土壌の汚染などの調査を行うべき。
6	消費者、子育て中の主婦として添加物はできるだけ使用してほしくないし詳細な情報を知りたいと思う。選択できる情報がほしいです。
6	山田講師の話の内容が行政・企業に実際に取り入れられて食の安全がはかられるよう切望します。
6	食品安全委員会にやはり消費者代表が入っていないことへの懸念を感じます。消費者の立場に立った疑問・不安をキャッチするアンテナをもち、安心につながるようにする姿勢として今の状態はまだ受動的であると思います。今日はありがとうございました。

リスクコミュニケーションについての意見

7a	食品全般の話か、リスクコミュニケーションの話が良く分からなかった。事例によるリスクコミュニケーションが分かりやすい。一般論が分かりにくい。
7a	リスクアナリシス全体についてよく理解できた
7a	リスクコミュニケーションという新しい概念とケイモウ運動の繋がりをあらためて感じると共に我々の提供する安全は消費者にとって安心には繋がらないという事を思いました。相互情報交換の図は解り易
7a	新しい概念、「リスク」がだいたい理解出来た。
7a	それぞれの立場での意見がある。それに対し、第三者がどのように感じているのか少しは理解できた
7a	食のリスクコミュニケーションについて、初めて勉強できた。

7a	初めて聞く言葉や、取り組みなどあり、少しむずかしい所もありましたが、少しずつ勉強して、意識を高めていかなければと思いました。
7a	これからはリスクを受け入れていけないといけないうのは理解できるが消費者は自己責任で食品を選んでいけないといけない。その時、選んだ食品から危害を受けた時、消費者は、危害の回復をどこに訴えていけばいいのか、また、危害の回復のための行政のバックアップは考えられているのか。(リスクコミュニケーションからはずれてしまってますが)
7a	リスクアナリシスの考え方が私自身、理解するまでにとても時間がかかりました。まだ十分ではないと思います。一般的に受け入れられるよう生活感の日常感覚の中で理解できるよう具体的なことを目の前に広報・実行をお願いします。
7a	生活者はより健康になることを望み、山田先生の食品の安全性とリスクコミュニケーションについては全員納得、合意されているものと思う。説明通りと思っています。摂取量&吸収量についても年代別・男女別、エネルギーの消耗度(運動)による一日単位の食事において落とし込み、目安が必要ではないかと思ます。他にも、基礎になる数値をしっかりとこのような機会に交換したら一発で決まるのではないかと、生活者のレベルは中学生レベルではないかと思ます。
7a	「リスクコミュニケーション」という用語はたいたい理解できました。しかし具体的なイメージがいまひとつできません。いろんな立場の人があつまって中心のまな板にのるのは任意商品?それともある時は農薬、ある時は添加物とかになるの?加わる消費者ってどんな人?事業者って一部は選ばれた人?参加者層はどこまで?開催場所や回数めやすけ?
7a	リスクアナリシスについては私自身は理解してるつもりですがこの間、関係した意見交換会や地方での食に関連したシンポジウム等に加えて気がかりなことは、リスクの軽視につながる伝え方になっていないだろうか、ということ。「必要なんだから使っちゃえ!」という意味あいの表現になっていることがある。必ず、必要最小限であることと他により安全な代替がないこと。総量規制の考え方は強調すべきであることは徹底したいと末端で「必要なんだから、がいつか歩きしてしまう。平易な勉強会、意見交換会」
7b	現在、行政からインターネットでパブコメ募集を行なっているが、殆ど一般の消費者は見えていません。(消費者団体は見えています)あまりにも片寄ったパブコメ、リスクコミュニケーションにならないようにお願いしたい。(アナリスト、マネージメント、コミュニケーションと形だけ作ってもダメ)リスクコミュニケーションは対象者を絞るべき。(食品事業者との充分な情報交換がなされずに無理な法規制が進め
7b	リスクコミュニケーションという考えをもつと浸透させ国民がリスクの許容範囲をどのくらいまでとるかということ国として知らせていく必要があると思う。
7b	世界中のリスクであるウイルス、風土を知らせる必要も。
7c	リスクコミュニケーションについては、経験が浅く、もう少し活発な意見交換ができればと思った。時とともに慣れてくるのかもかもしれません。
7c	食の安全・安心の説明責任の重要性を認識しました。
7c	食に関する具体的な問題まで(日々起こっている)をしていくことが一人の消費者として混乱している。
7c	リスクコミュニケーションについて私の理解が十分でなく答えが的確でなかった。
7c	もう一度資料を読んで更にリスクコミュニケーションについて理解し、参加したい。
7c	情報開示のためのコスト負担について誰がどう負担すべきかの議論が必要と思った。
7c	思っていたよりおもしろいもので、自分もコミュニケーションに参加したいと思いました。次回も参加したいと思ます。「23才会社員」
7c	消費者と一口に言っても意識の差が非常にある。安全と安心のギャップが大きすぎるという現実がある。どこまでリスクを受容できるかという議論をする前提として危険性に関する常識(共有できる)の整理
7c	消費者第一という流れの中で食品に対して消費者が求めているものを理解しているか、消費者に理解出来るような説明、啓蒙を行なっているか、考えさせられた。

その他の意見、感想

8	自分の業務分野なので
8	今回の意見交換会に出席した人の何人が満足と答えたかを考えて見れば理由はわかるはずであ
8	隣に聞く気のない人が座っていたので義務的参加者はいらなうと思ました。
8	こんなものでしょう
8	食品の製造・販売者にとって今の知識レベル(自分達ができるべきレベル)は高すぎるように感じる。事業者が食の安全の筆頭ではあるが、勉強しろと云っても限度があるような気がする。行政として講習会はその経済的にも知識として身につけて来れない業者が多い。
8	食の表示に関し、将来の表示(5年先)のあり方について見直しを行う必要があると思う。(複雑 シン
8	値段と安全・安心な食品は相反するものである。生産者・消費者・行政が社会的正義を貫くという強い意志、要求型ではなく提案型、自己責任型でないとい発展途上国からは先進国のたわ言に写る。「科学」というものに対して謙虚になるべきだ。すべての命はどんなに科学が進歩しても、人間が作り得ないものだから、現代の科学は組み合わせ科学であり、創造科学ではない。
8	国レベルでの新しい情報が得られた。
8	意見交換会等コミュニケーションの場を考える良い機会となりました。
8	これからもアテンションを取り続けていきたい

テーマ・論点・視点に関するもの

1b	どのような審議が行なわれてるのが分かってよいが安全性の考え方の範囲が狭いと思う。
1b	専門家の委員の発言がもっと確信のあるものであって欲しかった。本当に大丈夫だと思っているのか
1b	密室でやらず広くやりたいという意図わかる。ただし委員会のスタンスをしっかりとしないと、声の大きい人に振り回されるだけ。議事をしっかりとできる議長が必要。今回の交換会を受けて委員会がどう対応して、しかも「良心的な評価基準を作っていくのか興味深い(非常に難しいと思われる)。」
1b	多角的な見解が得られるが行政決定が遅れるのはいかがなものか？
1b	残念ながら意見を言う人が同じようでもっと多くの方が意見を言えて、議論が大きく広がれば良いです
1b	もう少しバトル?しても良いのでは……
1b	委員の考え方聞けて、参考になった。
1c	専門委員と意見陳述人の意見交換が全くかみ合っていないので時間とエネルギーの無駄使いと思わ
1c	GMの有用性に関してはさっさと決着をつけ行政としての態度をはっきりすべき(食糧安全保障のためにGMが必要)etc. 無駄に研究費を使ってもしょうがない。
1c	論点整理をして頂きたい。開発企業側の論理の弱さが目立った。特にモンサント社。農業生物資源研究所の方の意見は参考になった。消費者側の意見陳述も冷静で論理が明確だった。一致できる、一致できないをより明確にする努力をして欲しい。
1c	1、「消費者としては、国民としては……」という意見が多々あったが一消費者である私とは意見が異なっている。安易に代表域を拡大させないで欲しい。2、事務局として知っていなければならないことがあるはず。もっと勉強して陳述人への回答をして欲しい。専門委員にはもっとがんばってほしい。
1c	建設的な意見交換を行なおうという意図が全く感じられなかった。特に事務局の発言態度に誠意が見

意見交換会の双方向性、透明性に関するもの

2a	質疑応答が完結しないものが多い。質問をメモし、議論をコントロールする役割が必要
2c	中で出た意見のように、細かく意見を吸い上げる場を持って欲しい。安全性が確保された論議されたもの、そのデータをオープンに誰もが引き出せるようにして欲しい。持ち時間がに限りがあり、不消化。もっと時間をかけ、会場とのやりとりも含めて欲しい。
2c	立場の異なる意見が出されていく中で(インターネットで問題となっているような)暴力的な意見が多すぎる。「意見交換会」になっていない。これに対してもいちいち対応していくのか。しっかりした議長がきちんと議事を進めていくべき。時間を守られていない。ルールを守って「紳士的に」意見を述べてる人々
2c	消費者などからの意見に対して調査会の委員がどう考えるのか、もっと詳しい説明、見方を聞きたい。今回の意見に対してもう一度、最終案の前に「この点はこう考える」、「これはこうだ」という説明会を開いてほしい。このまま最終案が出るのには抵抗がある。
2a	コメントに対する返答をその場で聞ける。

ことばや表現に関するもの

3a	内容は素人にもっとわかりやすく注釈をつけてほしい。
3a	専門用語が多くわかりずらかった。注があると良かった。オープンリーディングフレームなど確かに農示を呼ぶと良いと思う。反GMO側の意見の方が聞き取りやすくわかりやすい。(賛同するかはおいとい

パネリスト・講演者に関するもの

4	生産者側の意見も伺いたかった。今回出された意見がどのように反映されるか。
---	--------------------------------------

意見交換会の企画内容に関するもの

5a	場は確かに必要。時間は短い。
5a	質問を含めると各自の時間がアンバランスです。もっと公平を期してください。
5a	時間制限のない出席者が満足するような場とすべき
5a	発言時間を厳守させるべき。初鈴8分後の1分は与えられた権利のように延長し、さらに2鈴後も発言を続けるなどルール違反を許すべきではない。質疑意見交換のなかでさらに自らの主張を長時間展開することのないようにすべき
5e	交換会の増加を望む。地域性、時間帯等、各用各層の意見が反映でき得る開催形態と規模を望みま
5e	開催は良かったと思うが開催することをもっと広範囲に知らせ傍聴者も100人より1000~2000人位はあっても良いと思う。(生産者、消費者、農業、栄養学、団体等から)
5e	都内一ヶ所でするのは1部の人しか参加できない。
5e	意見募集のときに、年齢と性別を求めているが、意見の内容にまったく関係のないことで求めるべきではないと思います。

3府省への意見

6	食安者の所しよう範囲にこだわった発言には失望した。食の安全に関する主体としてイニシアチブを取
---	--

リスクコミュニケーションについての意見

7a	科学的議論をもっと徹底して行なうべき。余りにも不十分で不安が残った。
7a	理解できないことがあったが議論を聞いて良くわかった。
7b	多くの国民、消費者はこの様な議会が開催されている事を知らないと思います。"知ろうとしない"と切り捨てずに公開とメッセージの発信を続けてください。

意見交換会 (GMO)

7b	まだ論点がばらけている。リスクマネジメントの論点は別途場を設けるべき。それは農水などの当事者がきちんと責任を持つべきではないか。この部分は古い行政体質の悪い面が見られたように思う。 (環境・農水の参加者が対岸の火事のように見ていてフォローもしなかった。当事者意識に欠ける。
7c	一般消費者としての立場を分けた場所も必要ではないかと感じた。
7c	消費者への説明が不十分
7c	遺伝子組換え食品はもうすでに出回っていて知らずに食べている事もあるので(外食等)開催はもっと以前にあっても良いのではないか。遺伝子組換えの最初の講演会を聞いたのは今から6年位前と思う。モンサント、農村者の方々の講演会だった。

その他の意見、感想

8	GMOをテーマにすると出てくる意見がある程度予想されることが判っているにしろ開催に踏み切ったこと
8	自主的に発言者として出る方には限りがあるという思いを強く持ちました。

テーマ・論点・視点に関するもの

1a	時間・内容に満足していますが、具体的な意見の交換があればよかったです。
1a	少し時間の関係でテーマを絞り込んで欲しい。
1b	皆バラバラです。前もって打ち合わせはしていないのですか？
1b	時間の都合でパネラー自身の立場や主張を説明したことに終始したのが残念。
1b	消費者の意見をもっと聞きたかった。
1b	質問者の背景が偏りすぎ。入場者の背景も偏っているのかと思う。
1b	パネリストは自分の立場の説明はうまくても、本当に困っている消費者の健康を何とかしようとか、生産者の苦勞に思いをはせて発言しているように思われなかった。
1b	色々な立場の話しをきくことができた。
1b	様々な立場の意見が聞けた。
1b	学者・行政・生産・消費全てが一度に聞くことによって、現在の方向がわかりかけた。
1b	各界各層の主張、意見が少し聞けた。
1b	それぞれの立場での意見を聞くことができ、勉強になりました。
1b	会場との意見交換の中で、消費者の考えとその対応が参考になったため、大変面白かった。
1b	それぞれの立場での意見、専門的・科学的な説明がなされ、相互理解がなされた
1b	専門的な立場からの意見かなという気がしていたが、最後に家庭での食生活が垣間見れて良かったです。
1b	色々な立場の方の意見交換ができてよかった。
1b	意見内容に片寄りがなかった。
1b	消費者など、行政以外の意見が聞け、参考になった。
1c	内容が自分の中で納得することができなかった。
1c	色々な立場の方々が意見を述べられる中、少し立場を忘れて対話ができればと思います。しかし大きな一歩前進になったような気はしました。
1c	最近の情報を知ることができ、勉強になった。しかしその情報も選択、正しい情報を知りたいと思った。
1c	生産者・消費者、また他の立場からの視点を詳細に、かつ確実な資料をもとに会が進められていると思う。
1c	議論がすすんだ
1c	様々な意見を広く聞け、自分のためになった。
1c	中央と地方の意見交換をすることが大変有意義でした。
1c	フロア-の人たちも積極的に質問があり、活発な意見交換がなされ参考になった。

意見交換会の双方向性、透明性に関するもの

2a	食生活について、どう考えているかの質問に対して、何人かのパネリストが質問の返答をしていない(はずれの回答のように思う)。
2b	会場の意見(質問)をもっと多くの人にたずねることができれば、より多様な考え方がコミュニケーションできるのではと思います。

ことばや表現に関するもの

3b	プリオンがダメだと言ったが、異常プリオンがダメではないか。
3b	説明に専門用語が多い。
3b	専門用語が多い。
3b	専門用語が多い。
3b	専門用語が多い。

パネリスト・講演者に関するもの

4	パネリストの選定には疑問がある。
4	JA様の代表の方が話しをしていましたが、最近のJAのイメージは農業・生産というように考えられない。保険屋か銀行のようなイメージなので、あまり話などもピントはずれなような感じがする。あと、意見交換ができていない。
4	パネリスト各人が意見を持っていないで参加している。消費者代表が消費者の立場の意見を出して欲しかったです。
4	パネリストの人数をもう少し絞ってもいいのではないのでしょうか。消費者を増やしてください。
4	消費者側の意見が少なすぎる。もっと多くすべきだ。改善すべきこと、本日の話しは「問題がない」と意識させられる内容だった？層だとすれば、マスコミを通じて強く消費者に対して流してみてもどうか。
4	今回の消費者代表も自分で不勉強を強調し、消費者が持っている安全性への疑問を強く発言していない。もっと消費者の声を代弁できる人を選ぶべきである。
4	基調講演は明確ではあったが、内容的に満足できるものでなかったのが残念でした。

4	大手食品業者のパネリスト参加が望まれる。
4	パネラーに女性を採用して欲しい(40%以上)。科学者にも女性はいらっしゃると思いますが。
4	唐木先生のお話しは的確で非常によく理解しやすく、参加してよかったと思わせてくれるものでした。食に関してあまり神経質になる必要もないと(洗脳)思わせてくれました。ただ一番心配なのは食の栄養を気にせず、料理をしない人類が問題だと思います。
4	もっと広く生産者・学者などを集めて交換会を開いて欲しい。
4	流通業者・医者を加える
4	パネリストの方々の話しは色々よく分かった(特に北川先生)
4	まだまだ理解している点があることが分かったので良かった。今後流通関係者もいれてコミュニケーションをとって欲しい。

意見交換会の企画内容に関するもの

5a	適切な説明時間が確保されていなかった。
5a	もう少し一人の持ち時間があればよかった。
5a	時間が短いので、パネラーの意見・意思が伝わってこない。
5a	やはり質疑時間をもっと(2時間程度)とってほしい。
5a	もう少し時間をかけて、話し合いが必要
5a	時間が短い。
5a	リスクコミュニケーションの時間が少なかった。
5a	時間を多く。
5a	主婦で参加しているので、終了時間が遅いのは大変困ります。帰宅時間が遅くなると夕食のこしらえに響きますので考えてください。
5b	パネリストの人数をもう少し絞って欲しい。
5c	会場からかなりの広い意見が出て、その回答を含めて有意義であった。
5c	本日の会の内容を知らずに参加したのですが、主催が大きいのに大きな会場で多くの人に呼びかけたいと思った。
5c	参加者が非常に少ない。満員にする努力を。
5d	資料の内容よりもっと詳しくしていただけたら(OPと同じもを)。
5d	パワーポイントの資料を印刷していただければ良かったです。
5d	資料が分かりにくい。
5e	斜字は少し見にくい。
5e	進行役の方が明確に言葉を発していないときがある。進行をもう少し上手にしてほしかった。
5e	つまらない事ですが、イスが窮屈で疲れた。もっと広い会場が良い。
5e	栄養士会からの連絡で知りましたが、日が急で出席したい栄養士も沢山あります。もう一ヶ月でも早く分かれば仕事の調整がついたと思います。
5e	一般消費者向けに意見交換会を開くなら、土日が良いと思う。
5e	地方で消費者のこのような機会があまりなく、今後このような意見交換会を希望します。
5e	インターネット利用による意見交換会

3 府省への意見

6	評価する側として、今出回っている食品は安全で、危険なものは制度で防止すると言われていましたが、やはり今あるデータだけでは安心できません。もっと情報が欲しいので、この会に出席しました。もっと情報を発信していただきたかったです。
6	食品安全委員会の委員の選任はどのように行なわれるのか。
6	まだまだ意見交換会での意見が、国に対して反映されていないと思います。積極的にアプローチしていただきたい。
6	ぜひ以下の質問にお答えください。食品安全委員会の審議は農水・厚労からの要請を受けて始められるようですが、リスクコミュニケーションから吸い上げる(一般から受け付ける)ことはできませんか。できたら以下のメールアドレスにお答えください(*****)。
6	食品安全委員会に消費者代表を入れないで、消費者の意見を尊重すると言われても現実味が少ない。本気に食品安全に取り組む行政組織とは思えない。

リスクコミュニケーションについての意見

7a	リスクコミュニケーションという言葉そのものが難しく分かりにくい。よい日本語にすべきだと考える。一般消費者に受け入れられるとは思えない。
7b	リスクコミュニケーションではなく、もっと日本語で身近な言葉はないのでしょうか。
7b	広く行なってほしい。
7c	国民全体で知識を高める必要あり。(行政・業者・消費者・マスコミ)
7c	今日参加した方々だけでなく、もっと多くの人々、もっと多くの一般消費者に向けて、このような情報をマスコミなどが発表すべきである。

7c	リスクコミュニケーションの手法については行政として頭を悩ませています。人をいかに集めるかが自治体としては問題です。インターネットの活用以外のよいコミュニケーションの手法(こういった意見交換会)を実施したいと思っており、勉強になりました。
7c	パネリストと消費者の考え方の隔たりがあると感じた。
7c	農家指導に携わっています。「農薬を適切に使いましょう」、「使ったときは正しく記録を残しましょう」と指導しても、基準どおりに使っているからといって消費者は安心してくれるのかどうか不安です。適切に使用された農薬は安全ですと正しく分かりやすく消費者へ伝え、理解してもらうことが大切で、本気でやらないと生産者の努力は報われないと思います。
7d	消費者に対してどのような方法でリスクコミュニケーションを取れば分かってもらえるのか、日々苦労しています。

その他の意見、感想

8	明らかに「行政寄り」だとわかりました。
8	食の危機感は皆感じているけれど、どう行動してよいかわからないと思う。開き直ってしょうがないと思いき生活を送っている。
8	食糧危機が予測される中で、一人当たりの摂取量のリスクもさることながら、量的確保と危害の大きさとの相関はどうか(例えば中国一国に偏った供給)。
8	食品流通は食の安全にかかわる部分が大いと思う。例えば、形や大きさ、色、その他の品質が安全性よりも評価され、安全な食品の流通を阻害しているのでは。
8	農家組合員に誓約書を出させて、より安全な作物を出荷するようにお聞きしましたが、実際には出荷の間際に農薬をしっかりとかけられている様子も見かけます。JA青果連さんもよく指導をしてくださいばよいかと思えます。
8	食品関係に勤務しているが、家庭では果実・野菜などの生産者でもある。生産から消費までの間で、流通業者の介入が産物に対する消費の解釈・理解・認識を、本来のものとは異なったように変えることが多くあるように思う。生産者としては、直接消費者に届けたいし、消費者(大量調理)関係業者としては直接得られるようになって欲しい。
8	辺縁系と全頭連合野が交錯して、やはり話しを聞いても不安なこともあるが、これから仕事の面で活かせる内容は沢山あったと思うので、是非活用したいと思います。
8	「農薬は安全だ」とパネリストは言うが、実態を見ていないか、見ようとしていないかと思う。
8	食品添加物や農薬残留は安全だという小泉さんは、何を根拠にそのように言っているのか。飼料への抗生物質の添加、除草剤の濃縮残留、食物連鎖などの多くの学問的知見を無視している。
8	今後参加者それぞれが発展的な活動ができる助けになるような意見交換会が行なわれることを期待しています。
8	食品の貿易の自由化はしていくべきだと思っています。その上で、今回もそうですが自由化をする時の安全確保をするための体制作りと、他の面から見て国内産業にも目を向けた場合の国内農水産業の育成というものを平行して行なう体制作りをして欲しいと思います。そして自由化された市場の中で、何を選ぶかは消費者自身ですので、個人の価値観で何を選ぶかは自由だと思います。消費者教育ができる場が、国民に近い市町レベルであればもっと良いのではとも思います。意識の高い消費者は自ら情報を求めるとしますので、常に何かの形で情報発信だけはしてほしいと思います。
8	ジャーナリスト・教育者の理解を深めるように努めて欲しい。
8	参考になった。
8	食生活推進員としてよい勉強になりました。
8	行政としては意見しにくかった。しかし活発な意見交換ができていたと思う。
8	常に私達の団体がモットーとしている事、また活動している事をより深く掘り下げて意見を聞くことができ満足です。出席させて頂いてよかったです。
8	時間的にもよく、内容なども理解できた。
8	食の安心安全についていっそう関心が深まった。